

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境と共生できる産業の支援			20年度予算コード	5	整理番号	116	枝番号			
担当部課名	区民生活部産業経済課		コード	051502	昨年度 整理番号	133・134						
係名	商工係		連絡先 電話番号	3078								
上位施策名		No	44	新しい産業の育成・支援								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号 (1)	施策番号	事業コード 1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	創業予定者に対しSOHO事務所を貸す。創業を志す人にセミナーを開催し、起業のための基礎的な知識や情報を提供する。就労に関する専門相談員(キャリアカウンセラー)を配置し、区民の就労等の相談を行い、求職者を支援する。				(1) 杉並区創業支援施設運営要綱 (2) 職業安定法 (3) 杉並区就労相談実施要綱						
	活動指標名(式)	(1) 講座・セミナー実施回数 (2) 就労相談実施日数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区内で創業、起業したいという気運を高める事により、都市型ビジネス事業者の開業を促す。また、就職希望者の就職活動の支援を行い、活気あふれるまちづくりに貢献する。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 講座・セミナー参加者数 (2) 就労相談利用者数						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/			
	活動指標(1)	回	7	8	8	4	4	200.0				
	活動指標(2)	日	51	51	51	52	52	98.1				
	成果指標(1)	人	229	200	171	200	200	85.5				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	14,239	18,007	12,387	11,324	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円	4,061	4,088	2,645	2,636						
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.86	1.80	1.89	1.89						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,852	16,452	17,275	17,275					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	31,091	34,459	29,662	28,599						
	単位あたりコスト(-)÷	円	4,441,571	4,307,375	3,707,750	7,149,750						
	財源	受益者負担分	千円	3,057	3,111	3,111	3,111					
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	3,057	3,111	3,111	3,111						
差引: 一般財源 -		千円	28,034	31,348	26,551	25,488						
受益者負担比率 ÷	%	9.8	9.0	10.5	10.9							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)							
	阿佐谷キック・オフ/オフィス運営		9	室	7,230							
	起業家養成講座(起業家向け・小学生向け3校)		2	回	742							
	コミュニティビジネスセミナー		1	回	1,995							
	就労相談		51	回	1,052							
その他 (求職者セミナー・就職面接会)		9	回	1,368								

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 116 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	68.8
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		小学生向けの起業家養成講座は、教育委員会済美教育センターと連携して実施したため実際の事業費の支出はなし。コミュニティービジネスは、プロポーザル方式で委託者を決定したため、委託料を抑えることができた。求職者セミナー後半は東京しごとセンターと共催で開催したため、委託料を抑えることができた。 コミュニティービジネスセミナーは、同様の趣旨の講座が、すぎなみ地域大学において実施されているため、19年度をもって廃止した。 求職者セミナー及び就職面接会はハローワークや東京しごとセンターにて同様の事業を行っており、区と都・国の役割分担と、より効率的なサービス提供の観点から、19年度をもって廃止した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	阿佐谷キック・オフ/オフィスは、JR阿佐ヶ谷駅前という立地条件及び施設内の情報通信環境も整備されており、入居者から好評である。入居者の事業分野は、情報通信・コンピュータソフトなどが多く、入居者同士の仕事のやりとりもある。入居者のうち、6事業者が区内で起業した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	起業家養成講座は受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容が望まれている。また、講座参加者からは、区からの援助・委託事業などを期待する声がある。就労相談では、履歴書の書き方や面接のノウハウなど、実践的な指導により就職に役立ったとの声が寄せられている。					
	今後の予測	団塊の世代の人たちの持っている能力やネットワークなどを活用するための育成講座・支援セミナーの充実、活動場所の提供など、起業に向けた様々な支援のあり方に対するニーズが高まる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 専門能力を持った団塊世代が果たす役割は地域の課題解決に有効であり、起業を決断する際のきっかけとなる。また、就労相談は、求職者を支援することで産業経済の基盤整備に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: セミナーの実施方法の見直しを行い、内容・講師など全体をコーディネートする団体等と調整しながらすすめる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 講座・セミナーの参加者からすでに参加費を徴収している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 講座参加者からは、すでに必要な経費について一部負担金として徴収している。NPO等に事業の委託を行ってコストの低減を図っている。予算の範囲内で内容の充実を図っていきたい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) セミナーの運営は、すべてNPO等に委託している。今後、よりきめ細かい講座事業を展開していくには、それぞれの講座に最も適した技術、ノウハウを持つNPO等を選定していくことが課題である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「起業準備セミナー」「起業支援セミナー」の内容の充実を図り、起業する事業者の増加を図る。また、区の起業相談事業と都や他機関の支援事業とを連携させ、トータルな支援策を提供する体制づくりを検討する。 就労相談は、雇用情勢の変化や国・都などの機関の就労支援策との連携や整合性をとりつつ、より有効な施策案を検討していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 景気・雇用情勢の把握、委託先や国や都・ハローワークとの協議・連携が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 「起業準備セミナー」「起業支援セミナー」の内容の充実を図り、起業事業者の増加を図る。雇用状況にあった就労施策を実施する。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ			20年度予算コード	006	整理番号	117	枝番号			
担当部課名	区民生活部産業経済課		コード	051503	昨年度 整理番号	134・136						
係名	アニメ係		連絡先 電話番号	3077								
上位施策名		No	44	新しい産業の育成・支援								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	アニメ産業の発展・支援のため 区内アニメ事業者のPR 支援 人材育成 アニメを活用したまちづくりなどに取り組む		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 多くの人々にアニメーションに親しみ、理解を深めてもらえる機会を提供することにより、「アニメのまちすぎなみ」の知名度を高め、アニメーション産業の振興を図る。								
	活動指標名(式)	(1) アニメーションフェスティバル来場者数 (2) 研修受入数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) アニメーションフェスティバル来場者数 (2) 研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人数								
区分		単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		人	8,054	8,000	8,174	8,000	9,000	90.8			
	活動指標(2)		人	6	8	7	8	10	70.0			
	成果指標(1)		人	8,054	8,000	8,174	8,000	9,000	90.8			
	成果指標(2)		人	6	7	4	7	9	44.4			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,787	45,864	44,736	39,368	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	17,156	35,889	35,089	30,000					
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.18	2.00	2.22	2.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	19,751	18,280	20,291	18,280				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	49,538	64,144	65,027	57,648					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	6,151	8,018	7,955	7,206					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円		3,000	2,000	1,000				
特定財源計 +		千円	0	3,000	2,000	1,000						
差引: 一般財源 -		千円	49,538	61,144	63,027	56,648						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		アニメーションフェスティバル負担金					1	式	6,000			
		東京国際アニメフェア負担金					1	式	2,000			
		杉並アニメ匠塾委託料					1	式	3,220			
		サインシステム・モニュメン製作及び設置委託					1	式	28,862			
その他		(報償費、需用費、役務費、使用料、その他委託費)							4,654			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 117 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	102.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	87.5	19年度予算 執行率%	97.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場合 にはその概要も明記)							
事業環境の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	「アニメの杜すぎなみ構想」を立ち上げた当初は、ほとんどの区民が「アニメ」というコンテンツに対し認識を持ち合わせていなかった。しかし、アニメーションフェスティバルの開催やアニメーター養成講座などを開催することにより、区民の間に、杉並区の地場産業が「アニメ」であることが少しずつ理解されてきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	「アニメ」に対する興味を喚起したことにより、地域住民主催の事業において「アニメ」を取り入れる事業が増えた。また区に対しても「アニメ」を活用した事業の実施を期待している。					
	今後の予測	アニメーションミュージアムを観光スポットの拠点として位置付け、上井草駅南口に設置したモニュメントや西荻窪地区に設置するモニュメントなどを活用し、面として広がりのある事業を展開することにより、「アニメのまちすぎなみ」を区の内外に発信する。					
事業のあり 方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: アニメを活用したイベントの実施や、人材育成等の取り組みにより、アニメ産業集積地としての杉並区を大きくアピールすることができた。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: フェスティバルをアニメーションミュージアムと連携させることで大きな成果を上げた。今後はモニュメントを設置した地域と連携することにより、新たな展開を図ることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: ワークショップ実施時の材料費やモニュメントの維持管理など、現在でも受益者負担による事業を実施しているが、今後はイベント等に受益者負担を図ることができるか検討を行う。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: アニメキャラクター「なみすけ」を使用することを民間企業に許可しているが、民間企業で開発、販売される商品が増えれば、ロイヤリティ収入が入る他、区が独自に商品開発する必要がなくなる。					
協働等点 検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: アニメーションフェスティバルの実施は、区、杉並アニメ振興協議会、東京商工会議所杉並支部、動画協会などで実行委員会をつくり共催で開催 人材育成事業である「杉並アニメ匠塾」の運営を、杉並アニメ振興協議会に委託している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	アニメキャラクターの、ライセンスの管理をプロポーザルで決定した事業者に委託している。					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 アニメーションミュージアムを拠点としたフェスティバルを開催するとともに、観光スポットの拠点として区内外からの団体客の誘致や、海外からの見学者への満足度を高める事業を展開する。また、アニメを活用した観光ルートの整備を図るため、上井草駅南口に設置したモニュメントや平成20年度に西荻窪地区に設置するモニュメントとの活用を検討し、点から線、さらに面へと広がるような事業を展開する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 上井草地区や西荻窪地区を巻き込んだ観光ルートづくりには、地域の盛り上がりが必要不可欠である。そのため地域住民・地元事業者・行政が一体となり検討していくことで実現が可能となると考える。						
21年度方針	(1) 21年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	平成20年度、西荻窪地区のモニュメントを設置を最後に「西北地区整備計画」は完了するが、新たな杉並の魅力発信のための事業を検討する必要がある。					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメーションミュージアム運営		20年度予算コード	007	整理番号	118	枝番号				
担当部課名	区民生活部産業経済課		コード	051503	昨年度 整理番号	136						
係名	アニメ係		連絡先 電話番号	3077								
上位施策名		No	44	新しい産業の育成・支援								
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある人		(1) (2) (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		日本のアニメの歴史や製作工程を紹介し、アニメを体系づけて学び、体験できる施設として運営。アニメ関係者などのインタビュー映像が見れる人物アーカイブをはじめ、アニメ関連資料の展示やワークショップなどを実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) こどもからシニアまで幅広い世代にアニメを親しむ機会を提供し、アニメ産業に対する理解を深めてもらうとともに、「アニメのまち・すぎなみ」を周知する。							
	活動指標名(式)		(1) 年間来場者数 (2) 開館日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 1日あたり来場者数 (2)							
区分		単位	18年度	19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		人	48,171	50,000	50,214	50,000	55,000	91.3			
	活動指標(2)		日	306	307	307	306	306	100.3			
	成果指標(1)		人	158	163	164	164	180	91.1			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	62,111	68,078	66,491	76,431	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	48,326	57,074	56,966	59,622					
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.09	1.00	1.11	1.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,875	9,140	10,145	9,140				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	71,986	77,218	76,636	85,571					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	1,494	1,544	1,526	1,711					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	16,666	2,000	2,000	1,000				
特定財源計 +		千円	16,666	2,000	2,000	1,000						
差引: 一般財源 -		千円	55,320	75,218	74,636	84,571						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		アニメーションミュージアム運営委託					1	式	47,575			
		アニメ資料収集需用費及びアニメーションミュージアム運営需用費					1	式	2,894			
		施設維持管理(保守・警備・総合管理等)委託					1	式	9,390			
		備品購入費					1	式	340			
その他 (光熱水費・通信運搬費(電話料等)・広告料・賃借料)					1	式	6,292					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 118 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.4	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	97.7
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場合 にはその概要も明記)		アニメーションミュージアムの開館から3年が経過しているため、常設展示等の掲出物の現状について総点検及び見直しを行う。その結果、色あせ等の経年劣化を起こしているものは差替え、また、新たなキャラクターの追加や意匠の変更などを必要に応じて実施する。					
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成16年度末に、杉並区のアニメーション産業振興の核となる施設として「杉並アニメ資料館」から「杉並アニメーションミュージアム」としてリニューアルオープンした。また、事業の拡充に伴い、運営を「日本動画協会」に委託している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	アフレコやライブラリーなどの常設コーナーの他、ワークショップや各種イベントへの参加者の満足度は高い。一方で交通不便な立地条件への不満や、大型バスが長時間駐車できる場所の確保などの要望があげられている。					
	今後の予測	開館から3年が経過し、区内外からの認知度も高くなってきている。こうした中、アニメ制作会社からは制作会社独自の企画の要請や貴重な資料の提供などのオファーが数多く寄せられてきている。その提案を特別企画展として実施することで、更に幅広い年齢層の方々に楽しんでもらえるようになる。					
事業の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 区内小学校の課外授業のほか、修学旅行や海外からの見学者が年々増えている。さらに、19年度からは、海外の中高生を対象とした短期留学生(約500名)の体験学習コースとして企画された。多様なワークショップを開催することでアニメに対する理解を深める機会を提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) ▼ 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 運営を委託している動画協会で、各アニメ制作会社から提案を受けた企画を活用することで、コストを抑える。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: ワークショップの材料費やトークショーなどのイベントなどの経費の実費分について自己負担することを検討する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 各アニメ制作会社が、寄贈を申し出ている資料を選別、保管、展示する場所があれば、資料収集に関する経費を下げることは可能である。					
協働等 点 検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) ▼	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) ▼	協働等による成果と課題: 運営を動画協会に委託したことにより、民間のノウハウや経験を有効活用したワークショップや、企画展を充実させることに成功し、来館者を増やすことができた。今後、動画協会を中心に、全国のアニメやマンガに関するミュージアムと連携を取ることで、情報発信機能の充実を図っていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容) ▼						

今後の 事業の あり 方 (中 長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後も、動画協会を中心に民間のノウハウや経験を有効活用した、ワークショップや企画展、イベントなどを充実させる。また、人物アーカイブや寄贈を申し出たアニメ制作会社からの資料の収集を進め、アニメに関する情報発信機能を充実させていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在、ミュージアムでは保管場所が少ないため、原画などの寄贈があっても積極的に受け入れることが困難の状況にある。今後は、ミュージアムとして必要なものだけ寄贈を受けられるようなシステムを作っていくことでアニメ資料の充実を図っていく。	
2 1 年 度 方 針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 ワークショップや企画展を充実させるほかミニ企画展などを多く開催していく。さらに、アニメ資料の収集も積極的に進めていくが、21年度は、常設展示物等の見直しがないため、今年度より予算見積もりは減となる。	